

1人でも気軽に楽しめる湯葉

栃木 豆腐メーカーのこいしや食品（宇都宮市、諏訪英雄社長）と湯葉メーカーの日光食品（栃木県日光市、永島伸也社長）は1人で食べられる「日光ゆば」を開発した。2重の蓋の間に薬味を入れた構造の容器を使用。

ハレの日の湯葉を気軽に食べられるようにし、高齢者や女性の需要を取り込む。豆乳の濃度を濃くし、クリーミーな味わいに仕上げた。値段は150円（税込み）。今後は黒蜜などと組み合わせデザート風の商品も投入する考え。